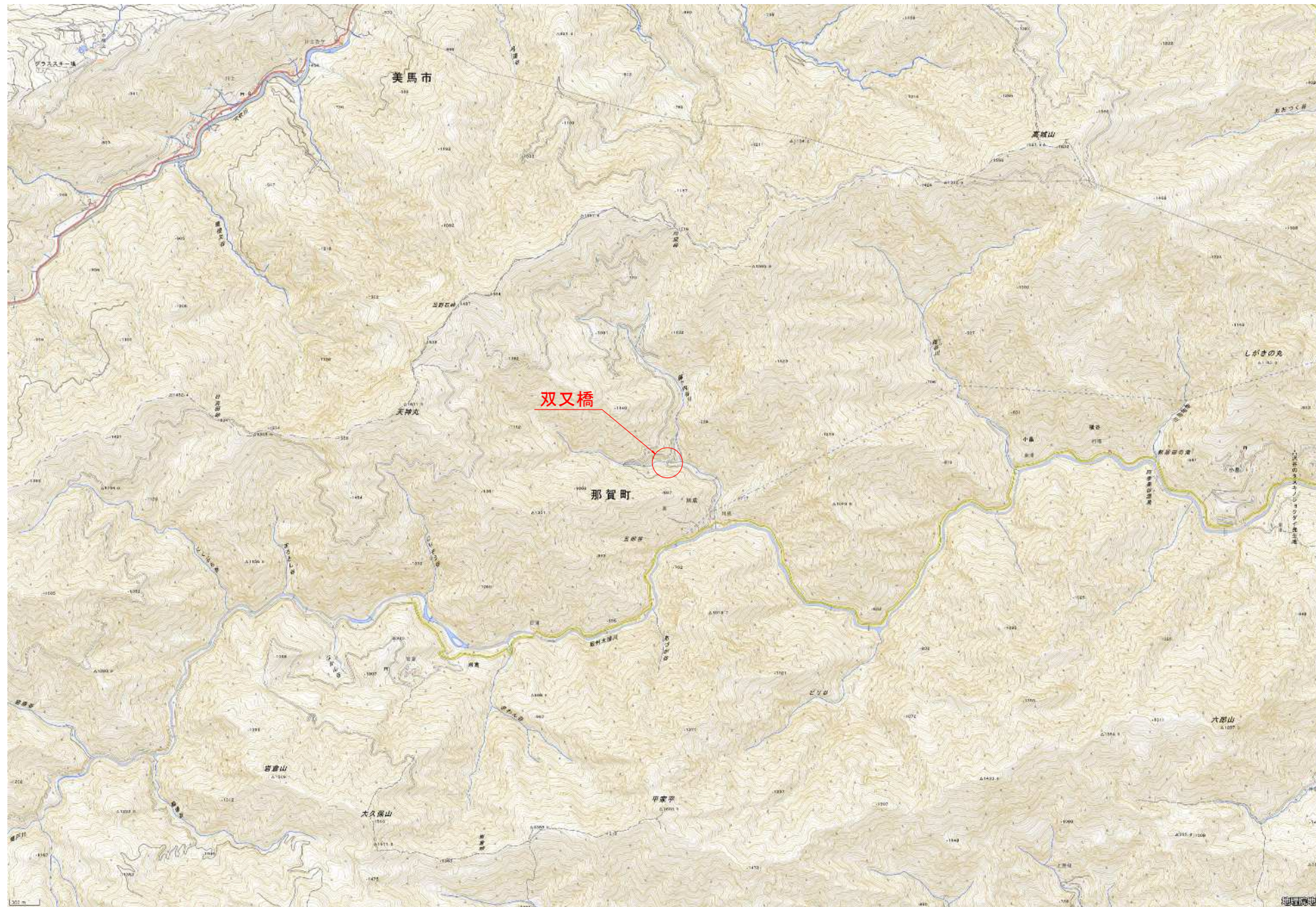


# 橋梁位置図 S=1:25000

(双又橋)



**【双又橋】**

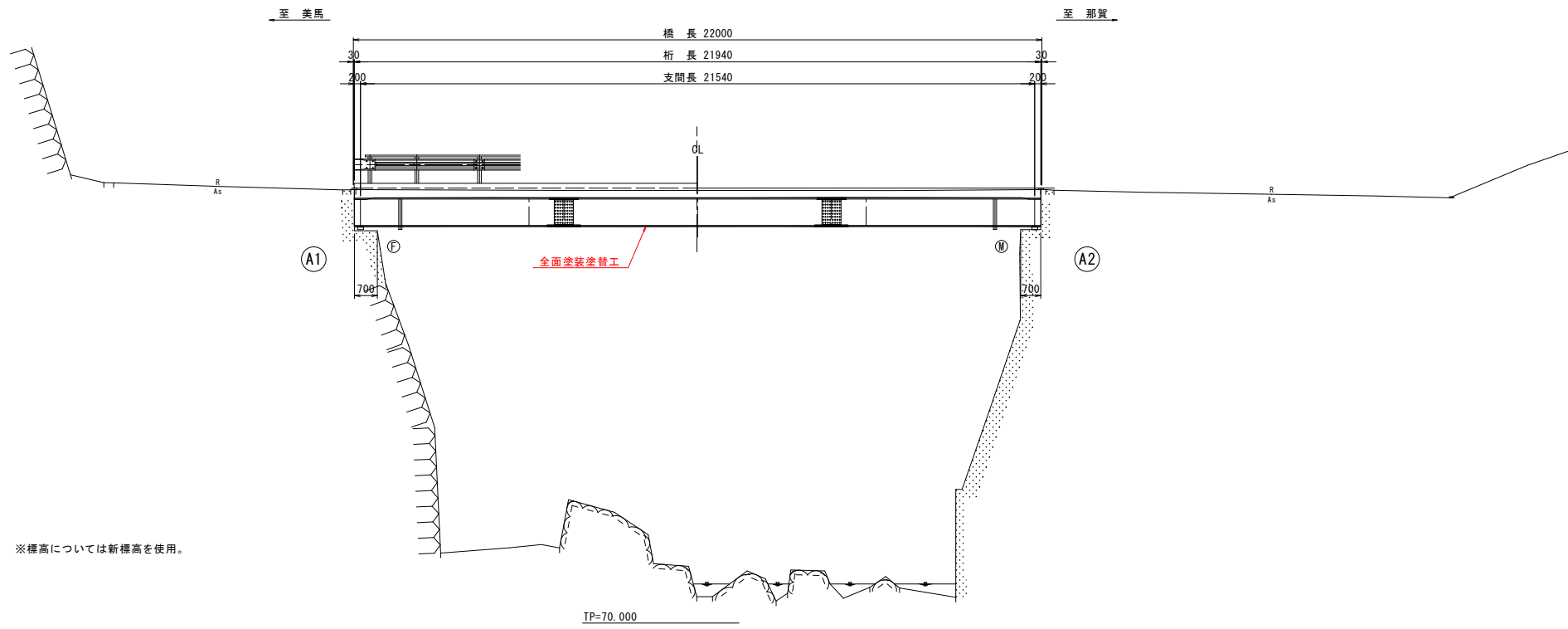
工事名	令和8年度 森林環境保全整備事業双又橋橋梁塗装工事		
路線名等	木屋平木沢線		
工事箇所	徳島県那賀町川成字峯		
図面名	橋梁位置図		
縮尺	1:25000	図面番号	1 / 4
会社名			
事業者名	那賀町 林業振興課		

※この地図は国土地理院の数値地図25,000(地図画像)の一部を転載したものである。

# 補修一般図 S=1:100

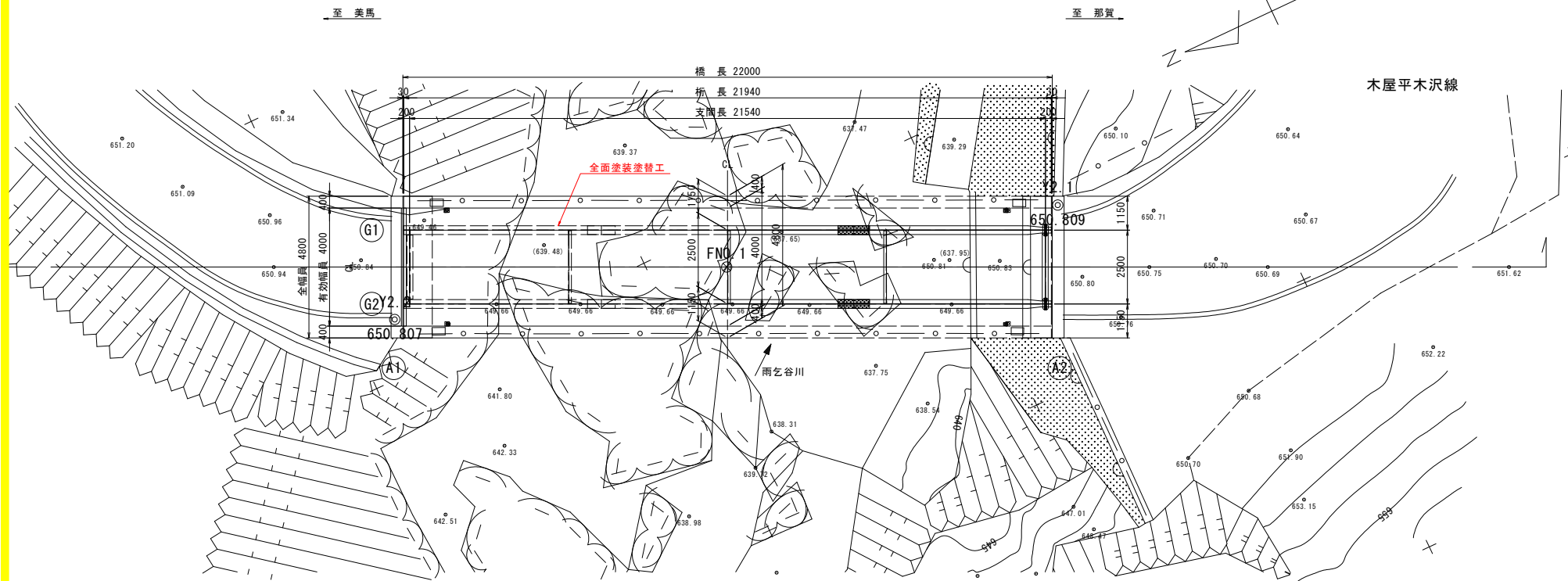
## (双又橋)

### 側面図



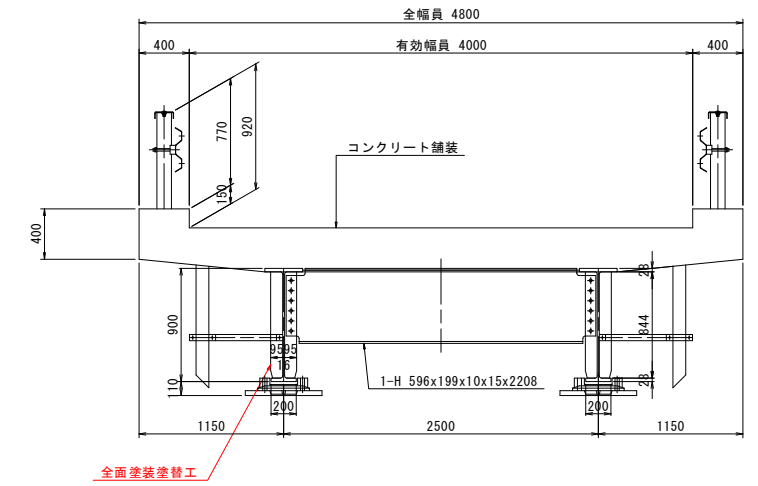
※標高については新標高を使用。

### 平面図

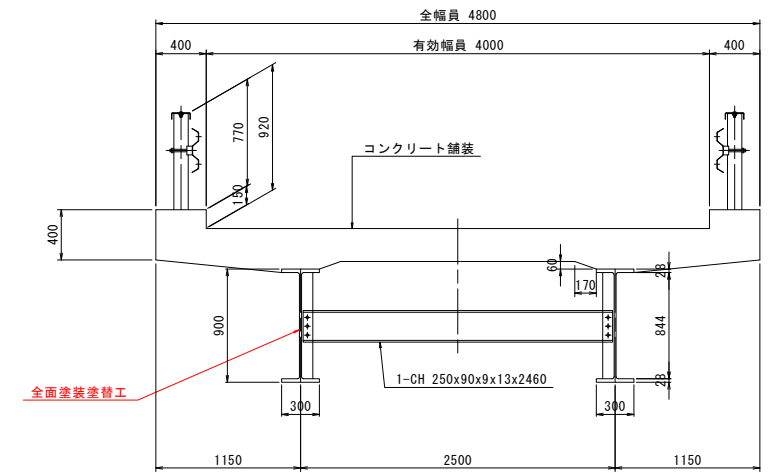


### 断面図 S=1:30

#### 端支点部 (全2箇所)



#### 中間部 (全3箇所)



#### 【橋梁諸元】

橋梁名	双又橋
路線名	木屋平木沢線
所在地	自 徳島県那賀町川成字峯 至 徳島県那賀町川成字峯
供用開始年	1973年(供用後52年が経過)
橋格	2等橋
形式	上部工 単純鋼溶接橋 1橋(合成)
	下部工 重力式橋台2基
	基礎工 直接基礎2基
橋長	22.000 m
桁長	21.940 m
支間長	21.540 m
幅員	全幅員 4.80 m
	有効幅員 4.00 m
斜角	90°(道路中心に対して)
適用示方書	昭和47年 道路橋示方書
交差物件	雨乞谷川(管理者:那賀町)
添架物	無し

#### 補修項目

補修工法	概要
塗装塗替工	Rc-11塗装系

#### 【双又橋】

工事名	令和8年度 森林環境保全整備事業双又橋橋梁塗装工事
路線名等	木屋平木沢線
工事箇所	徳島県那賀町川成字峯
図面名	補修一般図
縮尺	1:100 図面番号 2 / 4
会社名	
事業者名	那賀町 林業振興課

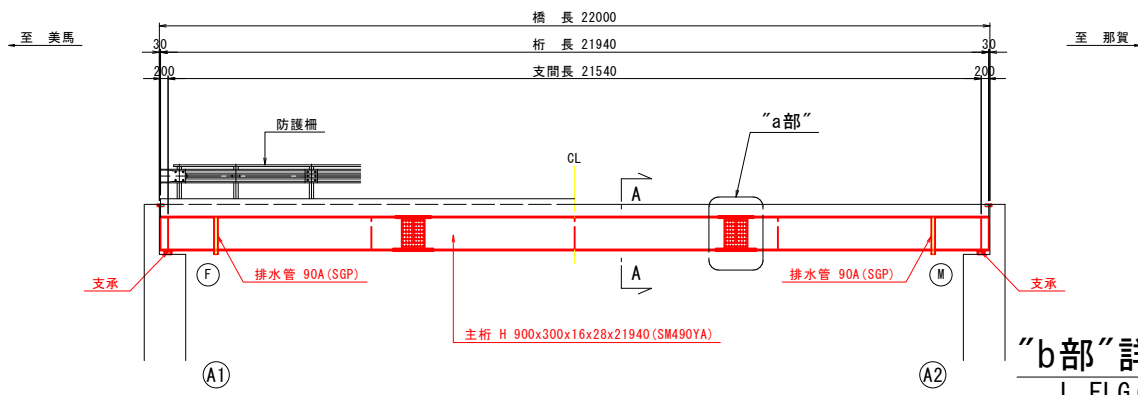
# 塗替え塗装工図 S=1:100

(双又橋)

断面図 S=1:20

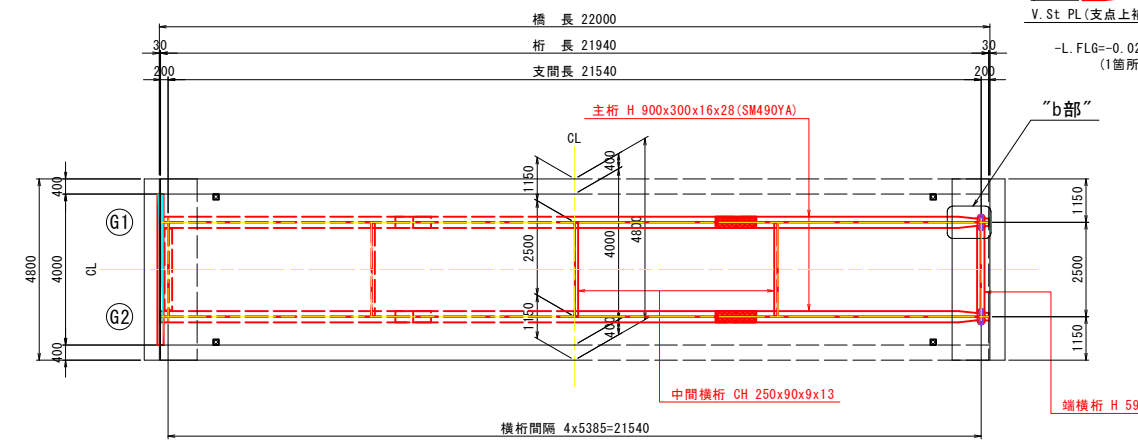
側面図

※ 赤の旗上げ箇所は、塗替え塗装部を示す。

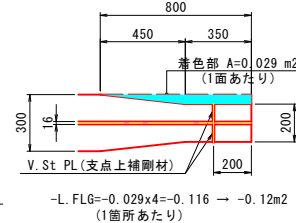


平面図

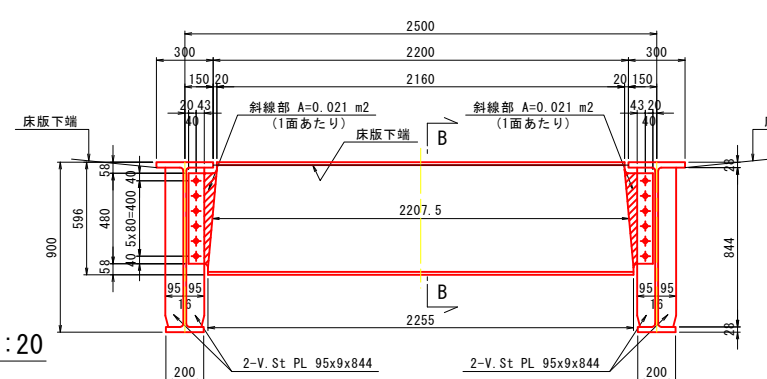
※ 赤の旗上げ箇所は、塗替え塗装部を示す。



“b部”詳細 S=1:20  
L.FLG(全4箇所)

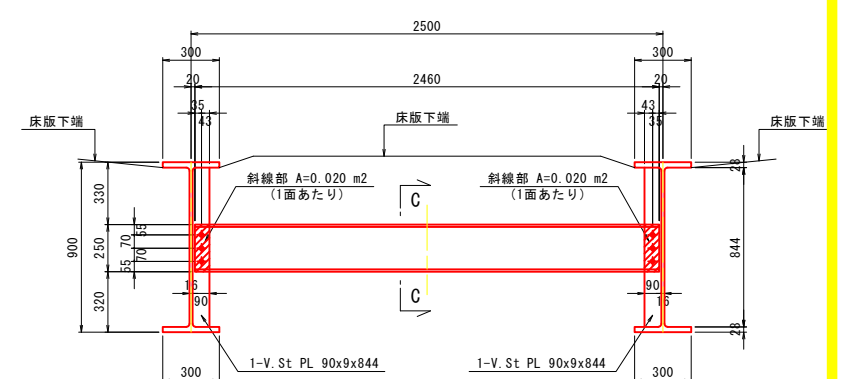


端支点部  
(全2箇所)



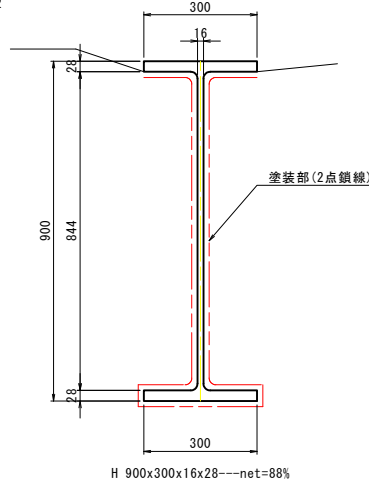
1-H 596x199x10x15x2208(SS400)  
12-HTB M22x60(F11T)  
WEB=0.021x4=0.084 → 0.08m2  
(1箇所あたり)

中間部  
(全3箇所)

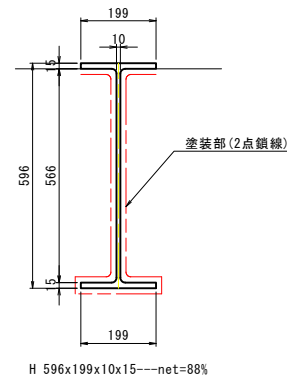


1-CH 250x90x9x13x2460(SS400)  
6-HTB M20x55(F10T)  
-V.S+CH=-0.020x4=-0.080 → -0.08m2  
(1箇所あたり)

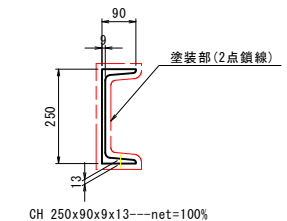
A-A S=1:10



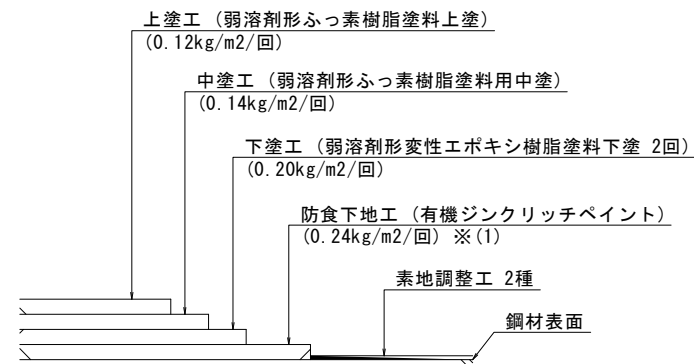
B-B S=1:10



C-C S=1:10

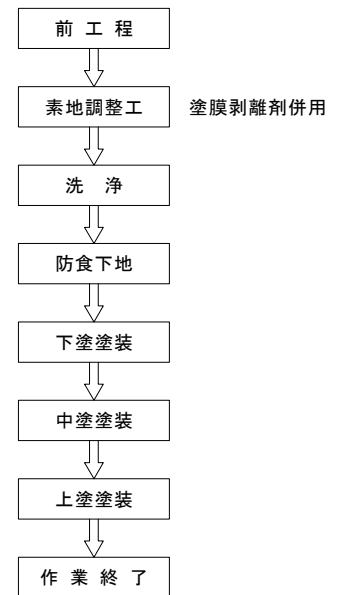


## 塗替え塗装要領

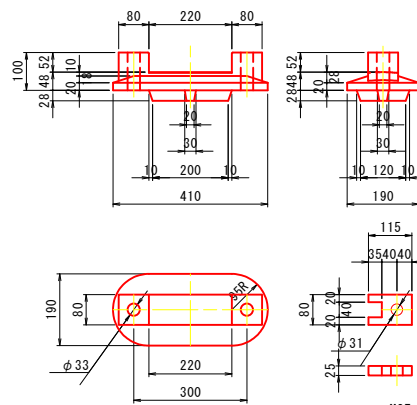


※(1) 素地調整程度2種で旧塗膜を全面除去した場合は、有機ジソクリッチペイントの使用量600g/m2とする。

## 塗替え塗装工フロー図



支承詳細 S=1:10  
S-45型(全4組)

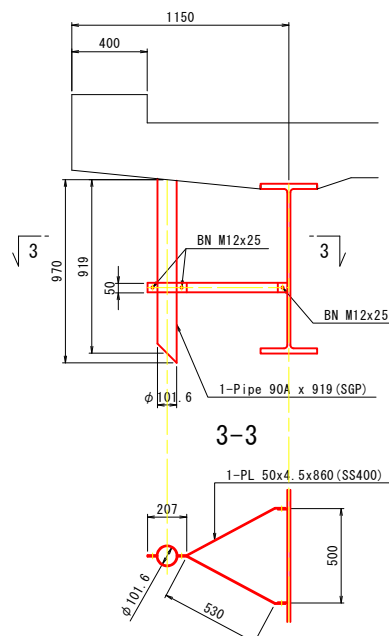


支承塗装面積表(1基当たり)

単位	数量
固定支承(A1橋台側)	m2 0.30
可動支承(A2橋台側)	m2 0.27

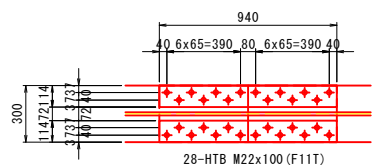
※ 支承の塗装面積は、道路橋支承標準設計からの推定値。ソールプレートを含む。

排水詳細 S=1:20  
(全4箇所)

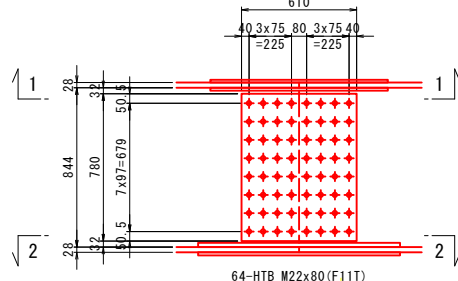


※ バンドPL及びボルト寸法は推定値

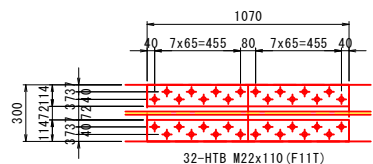
1-1 U.FLG連結



“a部”詳細 S=1:20  
(全4箇所)



2-2 L.FLG連結



Rc-II塗装系 (はけ, ローラー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	2種		4時間以内
防食下地	有機ジソクリッチペイント	(240)	1~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1~10日
中塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料中塗	140	1~10日
上塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料上塗	120	1~10日

※十分な養生と飛散防止を行うこと。

注記

1. 既設構造物寸法・形状は、工事に先立ち再計測・再確認を必ず実施し工事に反映すること。
2. 塗装仕様は、Rc-II塗装系を基本とする。
3. 施工前に腐食範囲の進行を確認し、適宜調整を行うこと。
4. 塗装施工の際は飛散防止に留意すること。
5. 素地調整作業時に、断面減少及び孔食が生じた場合には金属パテ(エポキシ系)にて断面整形を行ったのち塗装を施すこと。
6. 設計段階では塗膜剥離剤の塗布回数は1回としているが、施工前に剥離試験を行い、適切な塗布量及び塗布回数を確認すること。

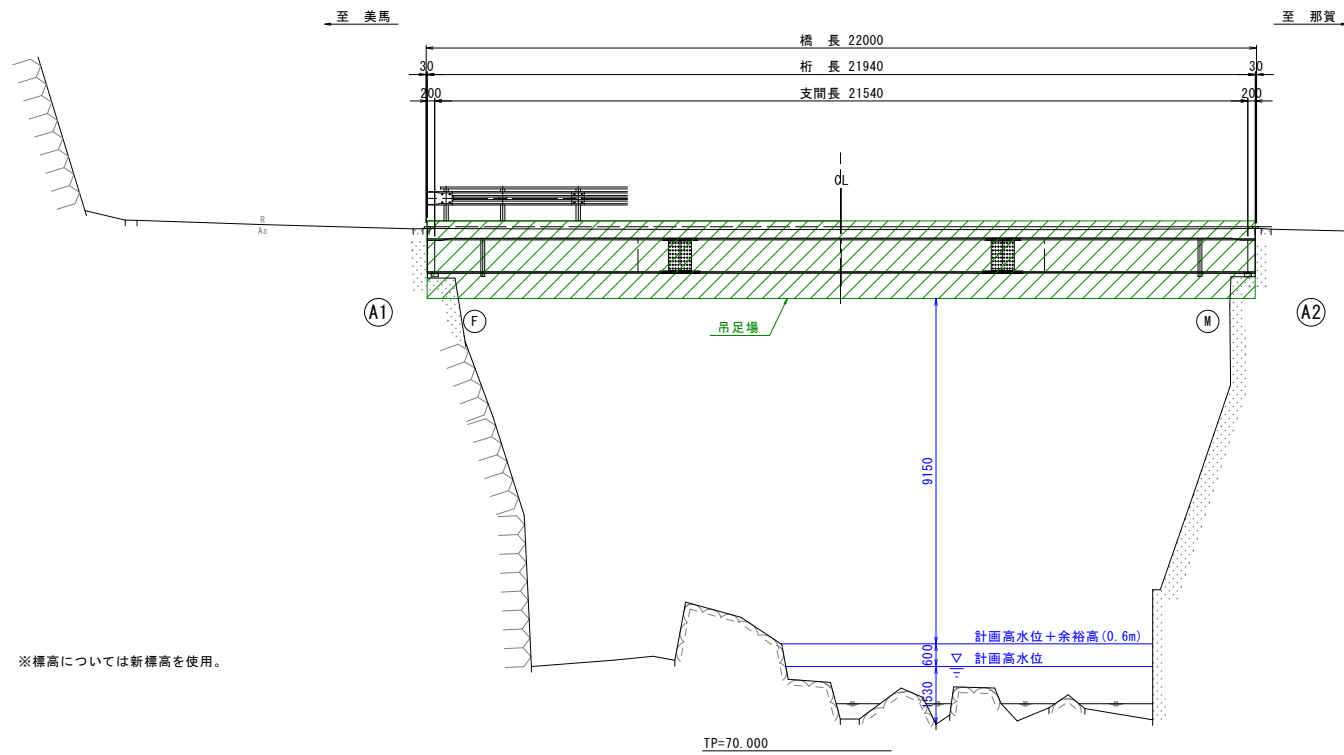
【双又橋】

工事名	令和8年度 森林環境保全整備事業双又橋橋梁塗装工事		
路線名等	木屋平木沢線		
工事箇所	徳島県那賀町川成字峯		
図面名	塗替え塗装工図		
縮尺	1:100	図面番号	3/4
会社名			
事業者名	那賀町 林業振興課		

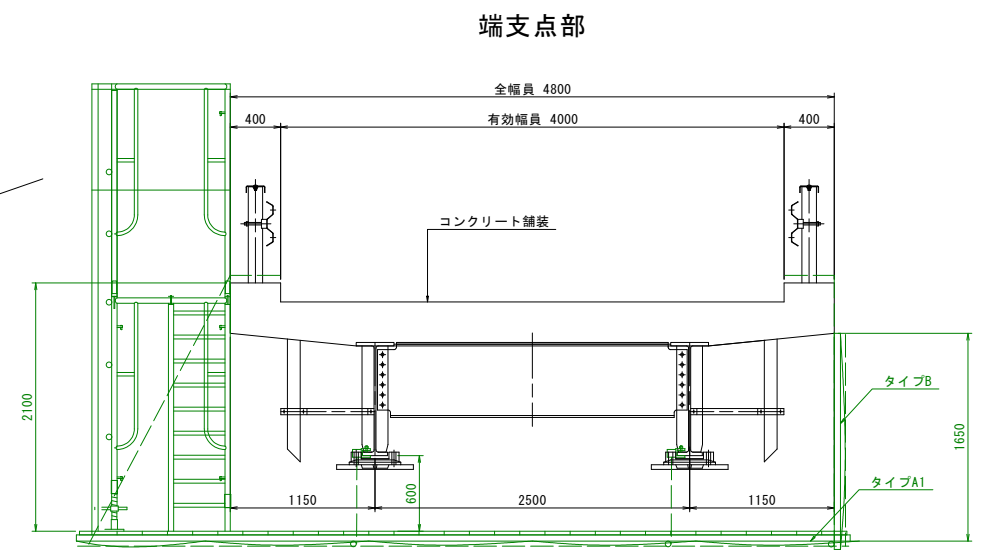
# 施工計画図(参考) S=1:100

(双又橋)

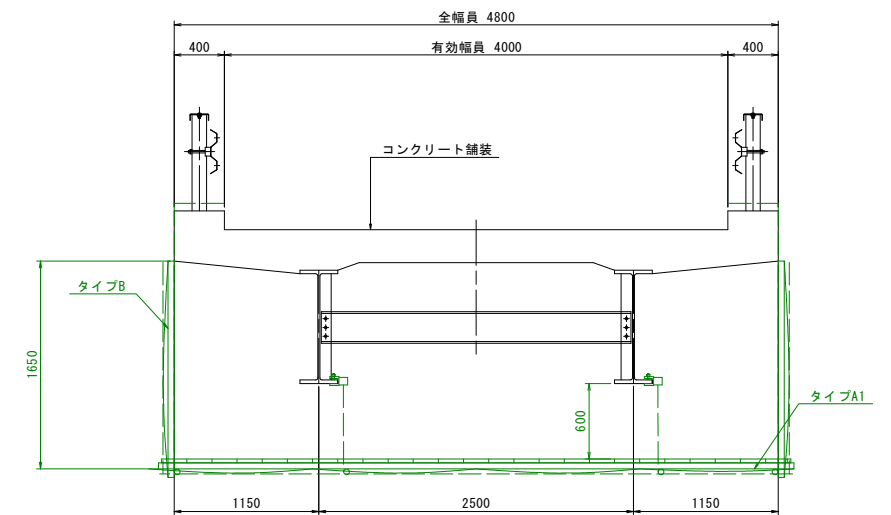
## 側面図



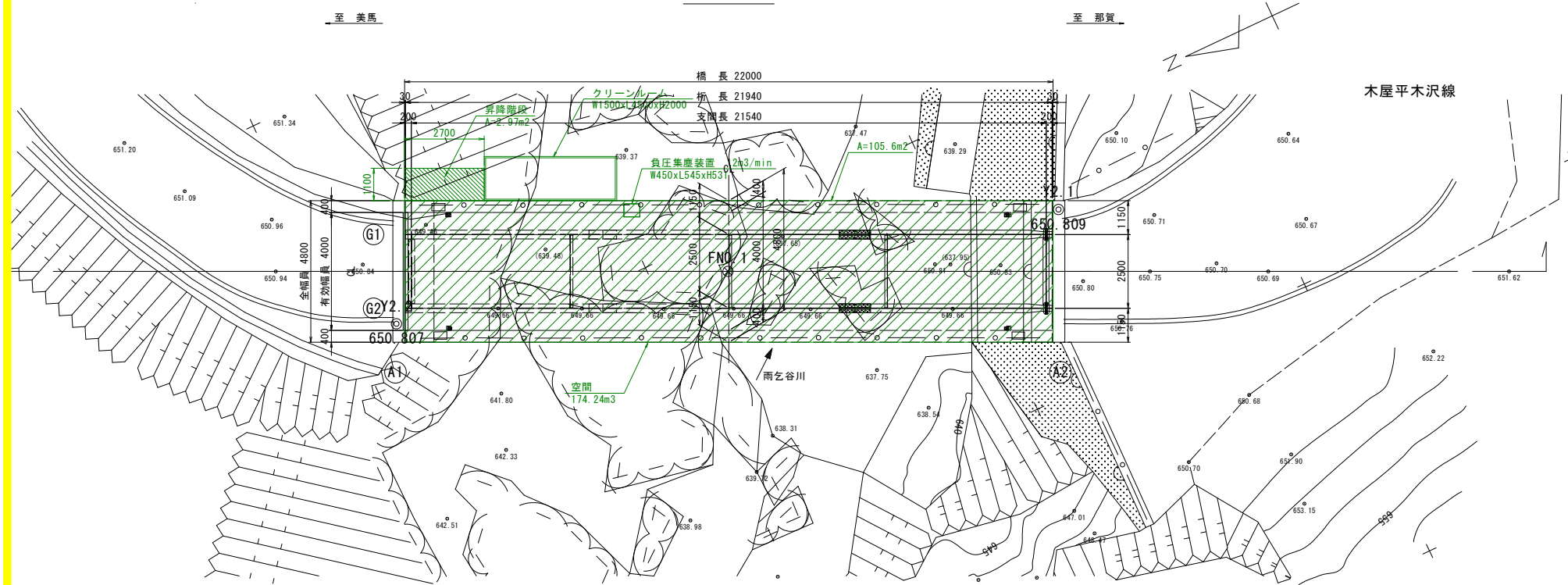
## 断面図 S=1:30



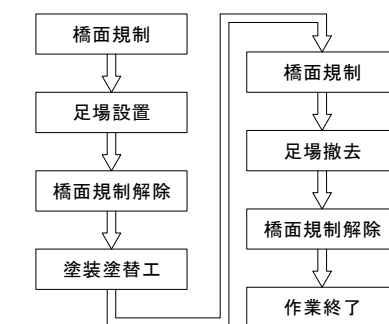
## 中間部



## 平面図



## 施工フロー図



### 【双又橋】

工事名	令和8年度 森林環境保全整備事業双又橋橋梁塗装工事
路線名等	木屋平木沢線
工事箇所	徳島県那賀町川成字峯
図面名	施工計画図(参考)
縮尺	1:100 図面番号 4 / 4
会社名	
事業者名	那賀町 林業振興課